

栗拾い 隣近所のお付き合

一丁目ブロック長 浅井廣己

コロナウイルス禍の中、地域の懇親イベントの開催が躊躇われるばかりの、この三年。ブロックのイベントを中止して来た事もやむを得なかったと思います。が、なんとか地域の皆さんの顔が合わせられないかと役員皆さんからの提案で、ちよつと遠出にはなりましたが津川の栗園へ家族単位での栗拾いを企画して、五台の自家用車と十六人の参加者での、楽しい秋の収穫イベントになりました。

自治会のイベントはなんやかんやと面倒な事が多いのですが、スタッフとして中に入り、皆さんと力を合わせてやり終えた後の、な～んとなくの満足感。



※大きな栗を選んでいきます。

何もない時には何だか鬱陶しい隣近所かもしれないが、こうして顔を合わせ居れば災害時には力を発揮してくれます。

アメシロ防除

五丁目ブロック長 中野秀雄

五丁目では恒例により衛生部員を中心に役員十名。散布実施宅の班長さんの立会い協力度六月と八月に薬剤散布を行いました。

自治会の年間計画行事で、アメシロ駆除実施が推奨されています。他地域では個々のアメシロ駆除グループで自主的に行われている模様ですが、駆除グループのない五丁目は、例年役員の業務として受け継がれています。

今回は背負い式動噴機で実施しました。早朝七時からの実施でも外気温が高く、広範囲な散布地域(二十七戸)で、散布機械も重量があり、熱中症になりそうな人も発生し、不慣れな役員だけの実施で重労働でした。

アメシロ駆除について

三丁目ブロック長 高嶋千明

毎年の恒例となりました、アメシロ駆除を衛生部長の小熊さんの協力を得て六月と七月の二回に分けて実施。事前に実施希望をとり行い、ほぼ半日掛かりました。

両日とも、午前九時に集合し、小熊さんが準備してくれたトラックに薬剤の入ったタンクを乗せ、女性の役員の方が先導して各小路に入り、これから始まることを伝えていただき、男性の役員の方は噴霧機を背負い、希望する家庭に薬をまいていきました。参加された役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

今後の課題として思うのは、除雪も含めてですが、住民の高齢化が進み、いつか実施することが難しくなるのではないかと思うことがあります。しかし、こういった事で住民同士が顔を合わせることができるので、これからも三丁目内で行っていったらと思います。

芋ほり体験会

四丁目ブロック長 高橋修

四丁目ブロック独自の活動は子供や女性達に喜ばれる行事を以前からやっている。今年もどうせコロナ禍だからと、白根のグレイプガーデンで行うBQ大会は今年度活動案から削除した。しかしそれに代わる代替えを何にするかと悩んだ末、芋ほり体験会をすることと決まった。言い出しつへの私、一応百姓の末裔であるから率先して動かねばと？・・・ 先ず阿部副ブロック長の畑を借りることから始まり、畑を耕し、肥料等を撒き、畝作り。マルチ敷きと苗植えはブロック役員にも参加して頂き何とか形は整った。しかし夏の草取りには早朝から役員と二日間実施したが終わらず、後は細々と実施した。そのおかげで自分の畑は草ぼうぼうであった。百姓とは草との戦いである。来年は畝や畑の周囲は除草剤散布を考えなければ・・・

十月二十二日収穫の日、秋晴れの中、役員・助人と蔓処理とマルチ剥ぎの作業。終了と共に雨が降り始めた。雨天決行と決まり、集まった三十人程で芋ほりを始めると、大きな芋がぞくぞく、子供達の歓声が響き渡る、やって良かった。苦労が報われた瞬間であった。袋から溢れる芋を両手に抱えて家路に着く。次の日、雨で順延になったと思う人がいると悪いので、畑で待っていると三家族八名がやってきて前日掘った残り物の芋を持って帰って頂き喜ばれた。皆で焼き芋にして食べてください。金さえ出せば上げ膳据え膳で賄えるが、自分達で全てやるのは確かに難儀である。来年も実施するか役員で相談しなければ・・・

自治会員の皆様のご協力も更にお願い致します。



六丁目梨狩り体験会

六丁目ブロック長 古川博

十月三十日(日)九時半から、江南区割野の斎藤さんの畑で、大人十八人子供三人の計二十一人が参加して、恒例の梨狩りを実施しました。

前の晩からの雨も朝七時頃には止んで、曇り空でしたが、何とか降られることなく終える事が出来ました。

今年度は豊作との事で大きな梨が沢山収穫できて、参加者には一人六個のお土産が割り当てとなり、各自がそれぞれ気に入った梨を自分で選び収穫して持ち帰りました。

午後からは文化育成部長の後藤さん宅駐車場に於いて、町内会員向けに三個五百円と格安で販売し一時間半ほどで完売となりました。売り上げは三万一千二百八十円でした。

なかなかできない貴重な体験ができる六丁目町内会の楽しい行事なので、来年度も多くの六丁目会員の方の参加をお待ちしています。尚、春の梨の袋掛け体験とセットで参加料は無料です。



六丁目ご長寿のお祝い

六丁目総務部長 白木明子

毎年、六丁目では九月の敬老の日に関内会の長寿の方々に、ささやかではあります。お祝いの品をお届けします。お祝いの対象の方は六丁目に住んでいらして、その年度に古希、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿をお迎えになる方です。

今年のお祝いの品は、去年、好評だったシャインマスカットとフラワーアレンジメントした花束です。

九月の敬老の日、残暑の中、対象のご長寿のお家に一軒ずつ六丁目の女性部長が持つてあがりました。皆さん大変喜んで、中には暑い中、戸外まで出て感謝の意を表してくださる方もいらっしゃいました。

「また次のお祝いの時も、おなじもの、もらいてな。あ。ありがと。」感謝のお言葉も姥ヶ山弁でいただき、嬉しい限りです。

今年は、新型コロナウイルスも落ちついてきたかなと思うと、また新たな波が来てしまい、政府からの制約は特になかったとはいえ、警戒は年間を通じてしなければならず、なんとなくの閉塞感は引きずったままの年でした。そんな中、ほほ、いつもの年と同じように、こんな風にお祝いの行事をやっていると、うすぼんやりとした暗がりの中の、ほんのり灯った明かりのように感じました。対象のご長寿はもちろん、ご家族、話を聞いた周りの町内会の皆も温かい気持ちになったのではないのでしょうか。

女性部の金子さん、暑い中、ご手配、配布ありがとうございます。姥ヶ山自治会ご長寿の皆様ますますの繁栄をお祈り申し上げます。

